

第10回

2017-2018 Winter Music Course in Vienna

ウィーン冬期音楽講習会

Merry Christmas
and
Happy New Year!



ウィーンで教わる音楽が、ステキ。ウィーンで迎える新年が、ステキ。



2017年12月29日 金 - 2018年1月5日 金

★ウィーン国立音楽大学教授、ウィーンフィル、ウィーン交響楽団などの教授陣がレッスン

★区博物館ホールの正式イベントで、出演希望者全員によるコンサート★全レッスン通訳付きだから安心

★音楽史跡を巡る市内観光やパーティも充実★ウィーン国立音楽大学受験予定の方には受験曲の選曲アドバイス★教え方の勉強にもなる、音楽教師に役立つ特別レッスン★音大入試のための筆記試験対策講座とドイツ語講座（オプション）★年末年始のウィーンで本場一流楽団のコンサート鑑賞（オプション）

アンドビジョン「つながる・ひろがる・響きだす」

音楽留学・語学留学スペシャリスト
And Vision

ウィーン冬期音楽講習会

クリスマスからニューイヤーに向けて、素敵にわき立つウィーンの街で、最高峰の名門ウィーン国立音楽大学の教授陣を中心に、ピアノ、ヴァイオリン、フルート/ピッコロ、声楽の講習会が開かれます。ウィーンに宿る芸術のスピリットに心を揺さぶられ、一流教授の指導を受けて、自分の音楽がひときわ深まっていく経験。他ではゼッタイできません。音楽史跡を巡る市内観光やパーティ、オプションの特別講座など音楽的なウィーンの年末年始を楽しめる講習会にぜひご参加ください。



音楽の都ウィーン。ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェン、そしてシューベルトたちが、忘れがたい素晴らしい音楽を人々に贈った街。この街の発するインスピレーション(靈感)と刺激は、芸術を営むものの音楽家にも、その集中的な研究のために必要不可欠な何かがあります。私はいずれ皆さんにウィーンのこのコースで、皆さんにご挨拶できること、皆さんと一緒に音楽を体験し学習し、皆さんがそれを理解し身につけ、表現して伝えることの出来るために、この街に訪れられることを喜びに思います。

ヴィクトア・トイフルマイヤー

Sehr geehrte Damen und Herren!

Die Musikstadt Wien lebt nicht allein vom Ruf unvergessener Komponisten, die hier gelebt und gewirkt haben und nicht allein vom Ruf weltbekannter Institutionen wie der Wiener Philharmoniker oder der Wiener Sängerknaben.

Nein, die Musikstadt Wien lebt von der internationalen Aufmerksamkeit, die uns ob der Pflege unserer Kultur und der damit verbundenen Traditionen zuteilwird. So sind auch viele junge Japanerinnen und Japaner in Wien, um hier Musik zu studieren.

Der kulturelle Austausch, der dadurch gefördert wird, hat gerade in Floridsdorf bereits jahrzehntelange Tradition: 2017 jährt sich zum 30. Mal unsere Partnerschaft mit dem Bezirk Katsushika in Tokyo. Eine Partnerschaft, die – wie ich stolz bin, sagen zu können – nicht nur auf dem Papier besteht sondern auch tatsächlich gelebt wird!

Für die Teilnehmerinnen und Teilnehmer des And Vision Meisterkurses wird ihr Konzert am 5. Jänner 2018 in unserem Mautner Schössl ein künstlerischer Abschluss sein. Für mich ist es der Auftakt in ein Jubiläumsjahr, wie er passender nicht sein könnte!

Ich heiße Sie dazu herzlich willkommen!

ご挨拶

音楽の都ウィーンは、ウィーンで生活し音楽的にも貢献した忘れがたい作曲家たちや世界的に名だたるウィーン・フィルやウィーン少年合唱団だけに止まらず、私たちウィーンそのものの文化や伝統によって国際的な注目を集めています。それが多くの若い日本人がここに音楽を勉強しに来る理由だと思います。

フロリズドルフ区で促進される文化交流は数十年の伝統を持ち、2017年に東京の葛飾区との姉妹都市として30周年を迎えます。私は、日本とのパートナーシップが紙面上のことにとどまらず実際に存在していることを誇りに思います。

アンドビジョン冬期音楽講習会参加者にとって2018年1月5日フロリズドルフ区マウトナー小宮殿でのコンサートは芸術的な締めくくりとなるでしょう。そして私にとっては記念すべき30周年目の素晴らしい幕開けとなるのです。

心から歓迎の意を表します!

Wien die Stadt der Musik, ein Ort
wo Haydn, Mozart, Beethoven u. Schubert
das große u. herrliche Musik der
Menschheit zum Leben brachte, ist
nicht für eine Stadt, die nur aus
einer Harmonie u. Ausgeglichenheit
ist, sondern ein Ort, der für die Mensch-
heit nützlich ist.
Es wird mich freuen Sie bei einem Kurs
in Wien begrüßen zu können, um gemeinsam
Musik erleben, entdecken, sich
auszugen, verstehen, ausdrücken, dar-
stellen u. hinterlassen.
S. T. T. T. T.

Georg Papai
Bezirksvorsteher



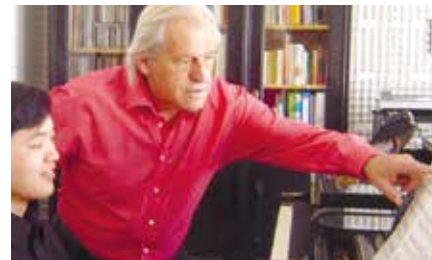
Foto: Wilke-Georg Papai

ゲオルク・バパイ
ウィーン市フロリズドルフ区長

教授陣

Professors

PIANO



ピアノ・ピアノ伴奏

ヴィクトア・トイフルマイヤー

ウィーン国立音楽大学元教授

ザルツブルクに生まれた彼は、モーツァルテウム音楽大学に入学しモーツァルト作品解釈の第一人者であったハインツ・ショルツ教授の下でピアノを学んだ。モーツァルテウムを全員一致首席卒業後、ウィーン国立音楽大学ハンス・グラフ教授の下に学び、その後の活動拠点をウィーンに置き、ウィーンフィルハーモニーの団員から構成されるウィーン九重奏団のピアニストとしてヨーロッパ各地でコンサートツアーを行い、デュオやトリオの室内楽ピアニストとしてもコンチェルトハウス、楽友協会(ムジークフェライン)などウィーンの著名なホールをはじめ、アジア各地でもコンサートを行う。1975年よりウィーン国立音楽大学教授となった彼は教育者としても著名。その暖かい人柄から、受講生は小学生からピアノ教師にいたるまで幅広く、指導経験の長さから、それぞれの受講者にあったレッスンを行うことで日本での人気も高い。彼の指導から毎年世界の名門音楽大学への合格者や国内・国際コンクールの優勝者、上位入賞者を数多く生み出している。生粋のオーストリア人ならではの音楽に対する深い感性と情熱を持ち合わせているトイフルマイヤー教授は、テクニックだけではなく、日ごろの練習だけでは得ることの出来ない音楽への感性や情熱をレッスンを通じて、惜しみなく受講者に注ぎ込んでいく。その長い指導経験からバロックから近現代までレパートリーは幅広い。

Professors

VIOLIN



ヴァイオリン

ゲラルド・シューベルト

ウィーンフィルハーモニー管弦楽団
ウィーン国立音楽大学教授

あのウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の、第2ヴァイオリンのパートリーダーを務めるゲラルド・シューベルトは、優れたテクニックと感性を持った、世界第一線のオーケストラ・プレーヤーだ。ウィーンに生まれ、ウィーンの音楽高校からウィーン国立音楽大学へと進み、ウィーン・フィルの第1ヴァイオリン奏者であったアルフレッド・スタールに習った彼の音は、まさにウィーンそのものと言っていい。オーケ・プレーヤーとして本格的に活動を始めたのは、何と高校時代から。それも、巨匠バーンスタインに腕を認められ、彼が率いる若手プレーヤーのオケに加わって、ヨーロッパ中をツアーして回ったのだ。バーンスタインに認められただけではない。大学時代には、天才ヴァイオリニスト、ギドン・クレメールが主催する音楽祭のオケで、コンマスとして抜擢された。正式にプロとして活動を始めたのは1979年。ウィーン国立歌劇場管弦楽団のメンバーとしてスタートし、1982年に、ウィーン・フィルのメンバーとなった。1983年から、恩師のアシスタントとして学生たちを教えていた彼は、経験豊かな指導者でもある。1999年からはウィーン国立音大の教授としてクラスを受け持ち、これまでに、ウィーン・フィルやウィーン交響楽団、ウィーン歌劇場管弦楽団の若手メンバーを多く育てている。名前を見ても分かる通り、あの大作曲家シューベルトの親戚(血縁)関係でもある。

Professors

PIANO



ピアノ

カール・バート

ウィーン市立芸術音楽私立大学教授
(旧ウィーンコンセルヴァトリウム音楽大学)

カール・バート教授は、世界トップレベルのクラシック音楽教育で知られるウィーン市立音楽院(現・ウィーン市立芸術音楽私立大学)で、ヘレーネ・セド・シュタッドラーに師事した。音楽院を優秀な成績で卒業した後、コンサートピアニストとして活躍し、ソリストとして、また伴奏者として、ヨーロッパやアジアの各地で数多くのステージに登ってきた。もちろん、彼の舞台はライブパフォーマンスだけではない。CDやDVDなどのレコーディングも多く、ラジオやテレビといったマスメディアにも登場している。レパートリーは幅広く、現代音楽の室内楽にも取り組んでいるほか、保守的なイメージのあるウィーンのピアニストとしては意外かもしれないが、フリー・インプロヴィゼーションや映画音楽なども手掛けている。

現在、ウィーン市立芸術音楽私立大学ピアノ科教授を務めている彼は、同音楽大学のピアノに関する教育方針や、重要な決定に直接関わる有力者だ。また、ウィーン市がバックアップする伝統ある夏期講習会「ウィーン国際音楽ゼミナール」などでも教えている。重要なポストにある彼は、様々なピアノコンクールの審査員も務めている。心優しく、生徒への面倒見が非常に良いパート教授なら、ウィーンを目指す方には的確な指導が期待できると言えよう。

バート教授は、来日回数も多く、日本人への指導も慣れているのもうれしい。

Professors

VOCAL



声楽

アデーレ・ハース

宮廷歌手
ウィーン国立音楽大学元教授

ウィーンアカデミー(現在のウィーン国立音楽大学)声楽科において、オペラ、リート、オラトリオを学ぶ。修士称号を「オペラ歌手その仕事としての前提」にて取得。ソロ歌手としての活躍は、リリックコロラトゥーラソプラノとして、1973年から1998年までウィーン国立オペラ座、ウィーンフォルクスオペラ座の歌手として80以上の役を演じた。1989年には、オペラ歌手としてその著名な活動を行った歌手だけに与えられる「宮廷歌手」の称号を授与される。ゲスト歌手として、ツアー、コンサートなども数多く行い、リート歌手として、エリック・ヴェルバ、ノーマン・シェットラー、イェルク・デームスらの著名なピアニストたちと組んでのコンサートをヨーロッパ各地、アジア、アメリカにて行った。ハース教授は指導者としても活躍し、1990年よりウィーン国立音楽大学で声楽科の芸術指導にあたり、1999年よりウィーン国立音楽大学教授となる。現在は、ウィーンにあるプライベートスタジオで、発声法と歌の解釈についての指導に当たっている。今までにマスタークラスをオーストリア、ドイツ、日本、韓国、台湾の各国で受け持ち、彼女の指導の下からは、オーストリアのペルトシャッハ、スイスのジュネーヴ、ドイツのツヴィッカウ、ライプツィヒ、ハンブルク、日本など各地での国際コンクールの入賞者を生み出している。

Professors

FLUTE



フルート

ギゼラ・マシャエキ＝ベア

ウィーン国立音楽大学教授

ヨーゼフ・ハイドン音楽院教授

オーストリアの2つの名門校、モーツァルテウム音楽大学とウィーン国立音楽大学でフルートを学んだギゼラ・マシャエキ＝ベアは、世界で最も名を知られたフルーティストと言われるウィーン・フィルの首席奏者ヴォルフガング・シュルツを師としている。また、スイスが生んだ今世紀最大のフルート奏者、ペーター・ルーカス・グラーフのマスターコースや、ベルリン・フィルの首席奏者オーレル・ニコレーの下でも腕を磨いてきた。学生時代からウィーン室内オーケストラのソロ奏者として活躍し、その後、ニーダーエスターライヒ・トーンキュンストラ管弦楽団のソロ奏者に。1993年からはドイツ・チューリッヒ歌劇場管弦楽団の首席ソロ奏者に就任し、現在は、ソロやアンサンブルでの活動にも積極的だ。また、オケでの活動の他にもこれまでに数多くの著名音楽家と共演し、CD録音も多く残してきた。

ギゼラ・マシャエキ＝ベアは凄い演奏家であるだけでなく、先生として20年以上の豊富な経験を持っていることがうれしい。1991年から恩師であるヴォルフガング・シュルツ教授のアシスタントとしてウィーン国立音大の学生を教え始め、アントン・ブルックナー私立音楽大学の教授を経て、現在、ウィーン国立音楽大学およびヨーゼフ・ハイドン音楽院の教授として指導にあたっている。

演奏会の機会



最終日に出演希望者全員による演奏会が開催されます。演奏会は、一般のお客様を入れてのフロリズドルフ区博物館の正式なコンサートとなります。



会場 ★ ウィーン市フロリズドルフ区博物館マウトナー小宮殿ホール

日時 ★ 2018年1月5日/16時予定



ベートーヴェンは19世紀初頭、たびたびウィーンを離れ、夏の暑い日をヌスドルフやグリンツィングに宿を借りてすごしていました。エルデーディ伯爵夫人と知り合ったことから、エルデーディ伯爵領であるイエーデルゼー村のお屋敷に（ベートーヴェン記念館）たびたび招待されることとなりますが、ヌスドルフはイエーデルゼー村とはドナウ川の対岸に位置していたため、ベートーヴェンはドナウ川にかかるイエーデルゼー橋を渡って、ドナウの森を抜けていく近道を好んで歩き、その散歩を楽しんでました。

そのベートーヴェンのゆかりの地、イエーデルゼー村での散歩を回想する、ベートーヴェンの道が2007年5月12日にオープンしました。道中の7箇所のステーションに、マンフレッド・サトケがデザインし、ヨーゼフ・フランシツによって作られた4mの高さのスカルプチュアが置かれ、それはベートーヴェンの難聴を示すがごとく、折れた音叉の形をしています（右写真）。そのベートーヴェンの道の出発点がフロリズドルフ区博物館です。

ゲオルク・ハインリヒ・マウトナー氏が息子のゲオルク・アントンを住まわせるために1900年に立て始めた屋敷は、もともとセセッション様式で立てられ、その後、バロック様式で建て直したものがマウトナーシュレッシェルと地元の人たちより親しみをこめて名づけられている現在の建物です。

第二次大戦後、ウィーン市が屋敷を買収、市役所として使われていましたが、戦争で破壊された部分の修復作業を経て、1960年より、装い新たに、フロリズドルフ区博物館として一般公開され、館内にあるマウトナー小宮殿ホールでは定期的に室内楽や声楽の演奏会が開かれています。



※ 曲の難度や長さには関わらず、暗譜で演奏可能な曲をご用意ください。

※ 演奏曲目は教授と打ち合わせ後となりますが、必ず5分以内程度の短い曲もご用意ください。

※ 簡易なコンサート用の服装をご用意ください。 ※ コンサートの参加は自由です。

※ 伴奏コースは、コンサート参加には制約がありますので詳細はアンドビジョンカウンセラーまでお問い合わせください。

別途、全員参加のクラスコンサートを予定しておりますので楽しみに！

料金に含むもの▶

登録料、講習会費(受講料、聴講料、コンサート出演参加費、コンサート鑑賞費、修了証明書など)、講習時オリエンテーション費、8日間公共交通機関フリーパス費、アンドビジョンスタッフによる市内観光費、現地宿泊手配費、ホテル宿泊費、食費(朝)、(ピアノで日本語通訳ありを選択した場合またはピアノ以外の方の)日本語通訳費または日本語通訳兼任妻費、練習室費、空港送迎費、現地滞在中サポートサービス費(電話のみ)、海外国際送金手数料、海外国際送金銀行受取手数料、出発前サポートサービス費、セット割引

料金に含まないものの一部を明示▶

航空運賃、オプション、(ピアノで通訳なしを選択した場合の)日本語通訳費、打ち上げ費、海外旅行傷害保険費、市内移動費、電話代、自由行動中の一切の個人的費用など

講習会スケジュール▶

1日目	2017年12月28日(木)	日本発・ウィーン着→車で宿泊先へ
2日目	2017年12月29日(金)	講習開始／市内観光(音楽にまつわる場所へ)
3日目	2017年12月30日(土)	開講式／講習・レッスン1回目
4日目	2017年12月31日(日)	クラスコンサート(マチネ) ※オプション: ウィーン交響楽団 シルベスターコンサート ベートーヴェン第九交響曲・合唱付
6日目	2018年1月1日(月)	終日フリー ※オプション: シュトラウスフェスティバル オーケストラマティネ ※元旦は11時から市庁舎広場でウィーンフィル・ ニューイヤーコンサートが大スクリーンに映し出 されるなど、いろいろな楽しみがあります。
7日目	2018年1月2日(火)	講習・レッスン2回目
8日目	2018年1月3日(水)	講習・レッスン3回目
9日目	2018年1月4日(木)	講習・レッスン4回目
10日目	2018年1月5日(金)	修了コンサート・修了書授与
11日目	2018年1月6日(土)	車で宿泊先から空港へ→ウィーン発
12日目	2018年1月7日(日)	日本着

※スケジュールは例となります。レッスンスケジュールは参加人数等により現地の都合で、変更されますので予めご了承ください。

備考▶

- ①【重要】参加人数によっては、プライベートレッスンになります。
- ②原則日本からの参加者のみになります。
- ③未成年の付き添いの方の聴講料は無料となります。
- ④海外旅行傷害保険は必ずご加入ください。
- ⑤格安航空券、海外旅行傷害保険等は別途手配可能ですのでお問い合わせください。

オプション

①ウィーン国立音大入試筆記試験対策&ドイツ語レッスン

ウィーン国立音楽大学入試のための筆記対策(練習問題など)、および受験に必要なドイツ語を専門家が伝授いたします。

②音楽講師のための特別レクチャー

ウィーン古典派の作品指導についてや、バッハの作品指導法など、どの楽器の専門の方たちにも共通する特別講座(講座は、長年ウィーン国立音楽大学での指導経験豊かなトイフルマイヤー先生が行います)。

③年末年始のウィーン交響楽団などのコンサートチケット予約と購入

2017.12.31.

ウィーン交響楽団ジルベスターコンサート (コンツェルトハウス大ホール)

演目 ●ベートーヴェン第九交響曲(合唱付き)
オーケストラ ●ウィーン交響楽団

※ソリストは、アンドビジョンにお問合せください。

※お席によりお値段カテゴリーが、6ランクございます。お早目にお申込みいただくと、良い座席が確保しやすくなります。申込時期等による満席の場合はご了承ください。

※出演者は予告なく変更となる可能性があります。

2018.1.1.

シュトラウスフェスティバルオーケストラマティネ (コンツェルトハウス大ホール)

演目●シュトラウスを中心としたものとなります。

※ウィーンフィルニューイヤーコンサートと同様の雰囲気味わえるコンサートです。

※ウィーンフィルニューイヤーコンサートの手配はできませんのでご了承ください。

申込締め切り▶ 2017年11月25日

※申込締め切り日以前でも、定員になり次第締め切らせていただきます。

※申込締め切り後でも、コースに空きがある場合は申込み可能な場合がありますのでお問い合わせください。

お問い合わせ・お申し込みは、今すぐアンドビジョンまで!

TEL.03-3278-3450

アンドビジョン株式会社

〒104-0031 東京都中央区京橋1-5-5 京橋共同ビル5F

FAX.03-4496-4903



ホームページ/メール/Fax: 24時間・365日利用できます。

www.andvision.net e-mail ▶ **info@andvision.net**

営業時間 [平日] 10:00~20:00 [土] 10:00~15:00 [祝] 10:00~15:00 (3月~7月のみ営業)



後援 ウィーン市フロリズドルフ区

音楽留学・語学留学スペシャリスト
And Vision